

ウクライナ、ガザ、イラン侵攻で、改めてよみがえる戦争と抑留の記憶

勇崎作衛シベリア抑留体験画展

(Sakuei Yuzaki 1923-2011 没後 15 年)

『赤い吹雪』(油絵全 88 点・一挙展示)

シベリア抑留体験を絵で伝えようと勇崎作衛さん(1923-2011)が描いた油絵『赤い吹雪』88 点を残して他界されてから 15 年が経ちました。

4 年前からウクライナで、2 年半前からガザで、今年イランで、人びとが一方的に強いられている恐怖と不安、80 年前に日本人も中国東北部(「満洲」)や北朝鮮で同様の悲惨な体験を強いられました。戦争の後に、60 万人以上の日本人捕虜・民間抑留者らが旧ソ連(現在のロシアや中央アジア)とモンゴルに抑留され、先行きの見えない毎日を送る中、飢えと寒さと強制労働のために約 1 割の 6 万人以上が亡くなりました。その歴史と記憶を絵画で伝える貴重な作品群です。

今年 12 月は、1956 年にソ連からの最後の引揚船が舞鶴港に入港し、シベリア抑留が終わってから 70 年になります。悲劇はなぜ起き、再発を防ぐために何をすべきか…? 絵を通して知り、今の世界の平和と人権を考えます。

■日時:5月9日(土)~17日(日)11:00~19:00(*17日は16:00まで)

■会場:千代田区立九段生涯学習館2F「九段ギャラリー」

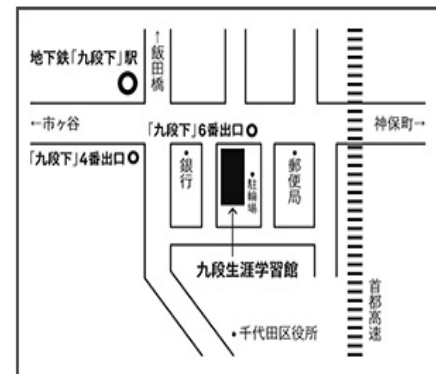
(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6 番出口すぐ前、千代田区九段南 1-5-10 地図: <http://www.kudan-ll.info/guide/info>)



吹雪の野末の埋葬 (ウランウデ)

* 毎日午後 2 時からギャラリートークを行います。約 30 分ですが絵の説明やゲストのトークを予定しています。予定は下記で案内します。⇒<http://sdcpis.webnode.jp/>

* 設営や受付などを手伝ってくださるボランティアも募集中です。下記にご連絡ください。

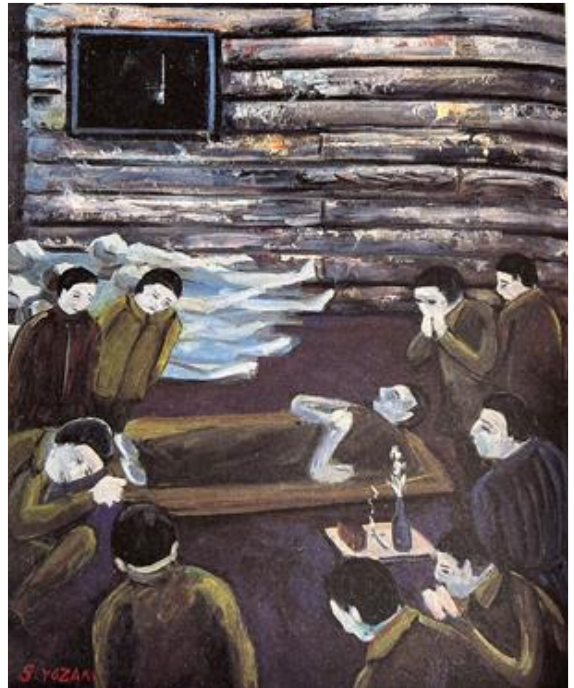


* 生前の勇崎作衛さんを記録した映像も会場で上映します。また、下記 Youtube でもスリランカ人作家の撮った映像が見れます。
https://www.youtube.com/watch?v=KctxMrjHgI0&list=PLjRct0Oa8CIXvKK7KVvHnHLO_P-am5CSt&index=3

●主催:千代田・人権ネットワーク ●共催:シベリア抑留者支援・記録センター ●協力:東江寺(渋谷区広尾)
●連絡先:☎080-5079-5461 E-Mail:cfrtyo@gmail.com URL: <http://sdcpis.webnode.jp/>
〒102-0073 千代田区九段北 4-1-31-401



黒パンをかじると髪が逆立った (ウラン・ウデ)



闇黒のまど～死体置き場 (ウラン・ウデ)



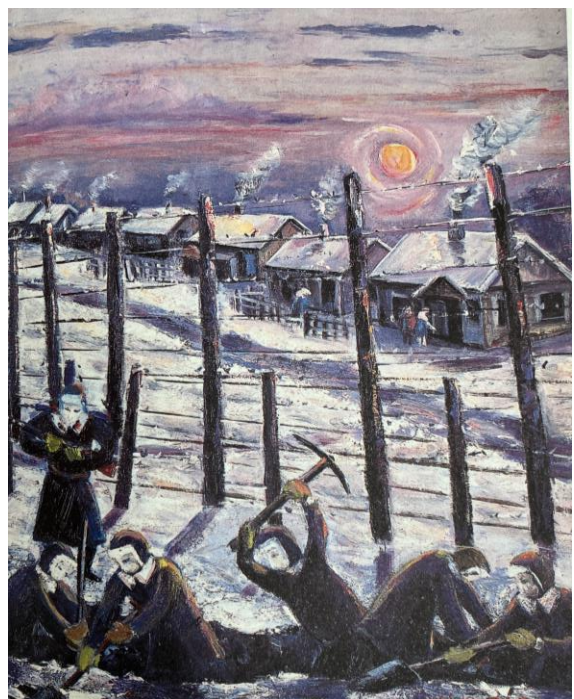
2000年

勇崎 作衛 略歴

- 1923年 6月 富山県の農家に生れる
- 1944年 1月 満州・富拉爾基(フラルギ) 陸軍病院に勤務兵として入隊
- 1945年 8月 敗戦後、ソ連軍捕虜として抑留される
- 9月 ウランウデ第7大隊に配属され、収容所で暮らす
- 1947年 6月 チタ第516労働大隊に配属、移動
- 1948年 10月 舞鶴に引揚げ・復員
富山から上京し、家具職人に弟子入りし、のちに自立
大田区で家具販売、食品スーパーを経営
- 1988年 65歳で絵を描き始める
- 1990年 6月 思うところあり、43年間経営してきた働まるゆう家具(旧食品スーパー)を解散。抑留体験画の制作に入る
- 1991年 4月 ゴルバチョフ大統領来日を機に、自店舗一部で抑留生活実態回想画を発表・展示。大田区民プラザでも展示
- 6月 旧満州・富拉爾基(フラルギ) 陸軍病院跡を慰霊訪問
- 1992年 7月 シベリア埋葬地巡礼に参加、ウランウデ、チタを慰霊訪問
- 8月 JR 蒲田ビルで展示
- 1993年 7月 画集『凍土の下で戦友が慟哭(ない)ている』を発売
- 91～98年 全国各地で個展・合同展など 35回展示(舞鶴引揚げ記念館、千鳥ヶ淵墓苑、ピース大阪、日本橋三越本店、京都市美術館、NHK 松山・高知放送局など)
- 1998年 5月 抑留シリーズ画 77点をビデオに収録、記録として残す
- 1999年 1月 帰国直後より描き続けた実態スケッチ 170点の画集を完成。後世に語り継ぐため、小中学生も対象にした画集第2版『赤い吹雪』の制作に着手(カラー仕上げ油彩画 80余点収録)
- 2005年 11月 NNNドキュメントで『88枚のシベリアー—勇崎作衛のシベリア体験』放送
- 2006年 10月 九段ギャラリーで『シベリア抑留体験画展』
- 2007年 8月 画集『赤い吹雪』(一部カラー)東江寺が出版
- 2010年 8月 『キャンパスに蘇るシベリアの命』(石黒謙吾構成、創美社刊)
- 9月 九段ギャラリーで『シベリア抑留体験画展』
- 2011年 1月 87歳で永眠
- 2016年 8月 『キャンパスに蘇るシベリアの命』彩流社より再刊



望郷の念にやむ「おふくろおー」 (ウラン・ウデ)



赤軍兵舎の水道工事 (ウラン・ウデ)